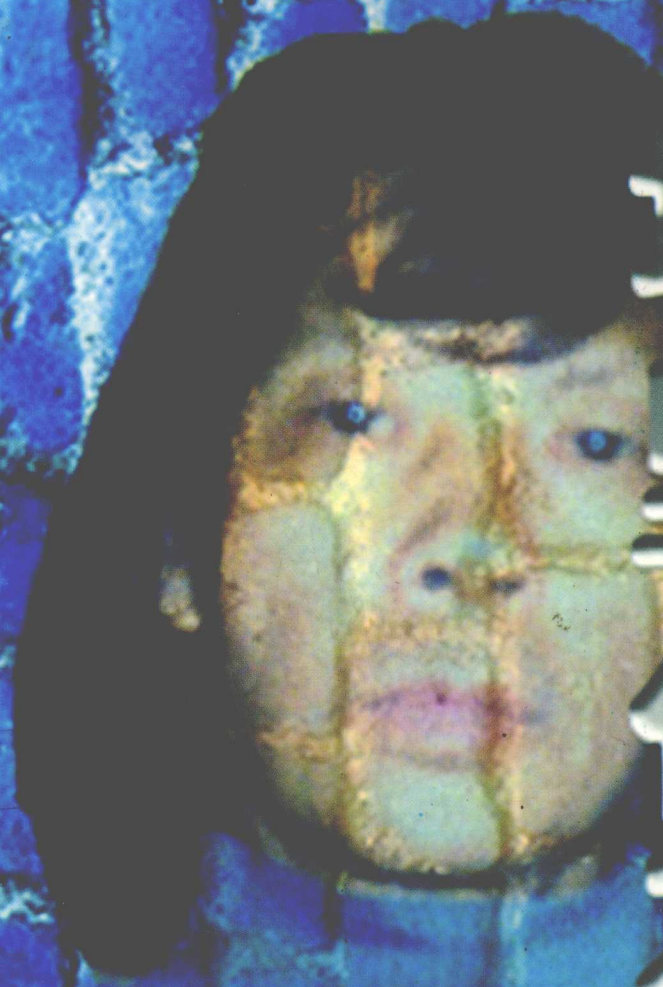


哑默

世紀的守靈人 (选本)

培里化石



(京)新登字第 165 号

图书在版编目(CIP)数据

现代诗人艺术家精品选集/何林 主编——北京：中国致公出版社，1999.6

ISBN7-6723-4-348

I·墙……II·哑·III·诗文选——作品集——中国——当代 N.1227

墙里化石

(现代诗人艺术家精品选集之二)

哑默 著

中国致公出版社出版

(北京东城区皇城根南街 86 号)

新华书店经销

合肥亚泰印务有限公司印制

*

规格：850×1168 印张：28 字数：580 千字

1999 年 6 月第 1 版 1999 年 12 月第 1 次印刷

印数：1-3000 册

*

ISBN7-6723-4/J·348-2

定价：49.80 元

目 录

自序 长歌如梦	……(1)
---------	-------

诗

飘散的土地	……(21)
诗选	……(95)
海鸥	……(98)
鸽子	……(99)
晨鸡	……(100)
荒野的婚礼	……(101)
是谁把春天唤醒	……(102)
启明星	……(103)
春	……(104)
哀离	……(105)
慧星	……(106)

他和我	……(107)
“在智利海岬上”……	……(108)
绿色的大星	……(110)
地球	……(112)
家园	……(113)
岁月的足音	……(115)
海边的歌(组诗)	……(117)
图案	……(126)
小白桦	……(127)
你留下来吧,夏天(组诗)	……(128)
一束野菊花	……(128)
我在田野上等你	……(128)
葱茏的小山顶上	……(129)
沿着那条长长的小溪	……(130)
拾蘑菇的小松林	……(131)
纯洁的夜	……(131)
小野鹿的眼睛	……(132)
走不出仲夏夜的梦境	……(132)
红金鱼啊,你可别游去	……(133)
蓝色的雾	……(134)
草帽里盛满了夏天的歌	……(134)
海鸥	……(136)
古罗马圆形大竞技场	……(138)
形象	……(140)
我	……(142)
冬夜	……(143)
海融	……(145)
你不必再来看我	……(146)

追忆	(148)
雪无语	(150)

散文诗

梦潮	(153)
苦行者	(155)
苦役	(155)
哀歌和祈祷	(157)
生命之歌	(159)
永不垂沉的爱心	(160)
行程	(165)
水泉	(170)
梦	(172)
写在野地里	(174)
乡野的礼物	(176)
元素	(176)
音符、词汇和色彩	(176)
春节	(177)
自远方来	(178)
雷动	(178)
灰烬上	(180)
樱花	(181)
春水泛滥在田野上	(182)
春	(182)
油菜	(183)
杉树苗	(183)

蚕豆、豌豆	·····(184)
情	·····(184)
苹果园	·····(185)
夜	·····(186)
风筝	·····(186)
小棒	·····(187)
夏至	·····(188)
金银花	·····(189)
阳光、风和树	·····(190)
布谷	·····(190)
痕迹	·····(191)
潭	·····(192)
泉水井	·····(192)
品性	·····(193)
晨间	·····(194)
蝴蝶	·····(195)
七彩玻璃	·····(197)
黎明	·····(197)
在大自然的心窝	·····(198)
宝藏	·····(199)
水彩画	·····(201)
标志	·····(201)
雨和虹	·····(201)
盛夏的尾声	·····(202)
溪水	·····(202)
向夏天告别	·····(202)
秋露	·····(203)
耕耘	·····(204)

茅草穗	(205)
草木灰	(205)
珍贵的来客	(206)
秋晨	(206)
山歌	(207)
“小人箭”	(207)
大自然的語言	(208)
蚂蚁	(208)
稻田	(209)
书签	(209)
黄昏	(209)
白石头的小层	(210)
路	(210)
月光	(211)
小旅行者	(211)
鸽子	(213)
秧鸡	(213)
铁匠棚的火光	(214)
小阳春	(214)
捕捉秋天	(215)
星夜	(216)
火炉和甘薯片	(217)
雨	(218)
冬夕	(219)
雾雾	(219)
初雪	(220)
金竹林	(221)
素描	(222)

小河冻上了冰	(222)
雪	(223)
永远不会过时的	(224)
婚礼	(224)
冬小麦	(225)
年	(225)
凝寒的夜晚	(226)
美的世界	(227)
无果花	(228)
四季之恋	(240)
汛期	(240)
无梦的情结	(248)
秋	(255)
雪思	(259)
高原	(267)
相	(267)
先祖	(267)
原初	(268)
月亮河谷	(268)
晨	(268)
雪松	(268)
行为艺术	(268)
遗传	(269)
进化	(269)
雨夜	(269)
雪	(270)
漩涡	(270)
深深的石流	(270)

逆反	(270)
哑剧	(270)
造型	(271)
传记	(271)
观照	(271)
野烧	(271)
魔幻之眠	(271)
变异	(272)
思念	(272)
奔逝	(272)
映象	(272)
感应	(272)
日落	(273)
树	(274)
水晶笛	(275)
天水	(275)
春之音	(275)
生命的色素	(275)
海韵	(275)
视角	(276)
铃兰花	(276)
无名的乐曲	(276)
太阳山谷	(277)
水与岸	(277)
是幻觉吗	(277)
写生	(277)
瞬间的声音	(277)
约会	(278)

回应	(278)
梦中人	(278)
爱	(279)
升华	(279)
陌生的路	(279)
忆念	(279)
林中小路	(279)
意	(280)
夏歌	(280)
秋容	(280)
雪讯	(280)
漂流	(281)
月亮伞	(281)
初衰	(281)
象罔	(281)
雾	(281)
夕照	(282)
瀑布	(282)
古迹	(282)
蓝色幻象	(282)
对比度	(283)
羽花	(283)
少女	(283)
旅途中.....	(283)
错位	(284)
未完成	(284)
你是草原	(284)
眷恋	(284)

午后的寂默	(284)
摇篮	(285)
云	(285)
晚霞	(285)
完满的星球	(285)
流川	(285)
灵魂的对白	(286)
幻念	(286)
秋林	(286)
穿越混沌	(286)
野望	(286)
灵感	(287)
入境	(287)
夕照下	(287)
大自然的编钟	(287)
音诗	(287)
黄昏	(288)
恋	(288)
秋天的问候	(288)
你	(288)
传奇	(288)
石记	(289)
故园	(289)
暮色将合	(289)
祷	(289)
接交时刻	(290)
夏令时节	(291)
合围	(293)

秋书	(294)
最后的野鸭	(295)
元	(296)

随 笔

你伴我漫步荒原(选)	(303)
纪念安徒生	(305)
罗曼·罗兰	(307)
他的名字	(313)
巴乌斯托夫斯基	(315)
弗吉尼亚·伍尔夫	(318)
卢梭	(320)
东方之歌	(325)
大地	(329)
大写的人	(332)
内心的太阳	(334)
自然之露	(337)
托马斯·沃尔夫	(339)
普鲁斯特	(342)
巴勃罗·聂鲁达	(345)
一个完善的世界	(348)
列夫·托尔斯泰	(350)
独存于心灵中的春天	(352)
圣克门蒂的日落	(354)
斯·茨威格	(357)
慕识林语堂	(359)

返归忆望	(362)
彻夜长鸣	(364)
那么一种情怀	(366)
鲁迅	(368)
不朽的乐曲	(371)
东方雄狮	(374)

散 文

秋天的银杏树(选)	(383)
列车向西	(385)
在满洲里山岗上	(390)
丛林的忧郁	(392)
小猫和我们	(396)
竹藪芭蕉的院落	(401)
风、雨、雪、月.....	(407)
秋雨蒙蒙的早晨	(412)
一位少女,一座城市	(414)
落叶的归宿	(420)
书房与人生	(423)
居家况味	(437)
圆明园的传呼	(453)
悠悠故校情	(456)
三味书屋	(462)
• 这样的雨夜	(466)
穿越林地	(468)
生命的影像	(471)

短 篇

往时(选)	(479)
小路	(481)
叔叔	(484)
喇叭唐	(490)
大街上的春天	(497)
良心	(503)

中 篇

虹雾	513
----	----------

音诗影视

林中路	577
-----	----------

非模式文学

湮灭(选)	(605)
故乡	(608)
浑浊的地平线	(614)
潜行的蓝光	(616)
发黄的影集	(621)
幽幽素馨	(626)
鸽爱	(629)

天籁之流	(632)
沙粒	(636)
脚印与贝壳	(642)
深沉的河流	(644)
爱	(644)
视界	(655)
梦汛	(655)
蓝雪	(685)
月色	(687)
异性的心	(689)
还乡	(695)
殉葬	(698)
孤独暮色	(700)

文化性回忆录

哑默的自白(选)	(705)
一本书的肇始	(707)
寂寞梧桐	(711)
早来的梦幻	(720)
我动身去寻找黑暗	(726)
我无数次述说秋天	(731)
与冬日相处	(763)
抚慰自己的背影	(781)
大地上永久的居住者	(788)
流行以外的隔绝	(813)
时间、情感、记忆、梦幻、回家	(819)

跋

默者之歌(陶 嘉)	……(831)
岁月的足音(王家鸿)	……(840)
简评《乡野的礼物》(胡鸿延)	……(842)
夜读哑默(吴若海)	……(846)
檬子树下的笔记(陶 冰)	……(847)
在哑默书房的一个下午(伍开翔)	……(849)
致哑默(欧阳元华)	……(855)
文学的苦行者——哑默(张嘉彦)	……(857)
“非模式文学”的实验成果(张嘉彦)	……(859)
末世哑默(黄 翔)	……(872)
大骚动(王 强)	……(884)
后记	……(885)
哑默文学行为简表	……(886)

自序

长歌如梦

有一种人常常会把时态错置——用自己的过去时和将来时应对当下的现在时。我恐怕就属此类人，用一个尔雅的称谓——永恒的梦幻者。

我不知当一切被赋予诗性色彩时，幻者之梦是否会变得华丽些、丰美些。

“老得眼睛褪色了，还在做着文学梦”。

是诗人黄翔很久以前就对我感叹过的一句话。

这个梦很深、很远……

四十几年前，我在唐诗宋词的意境中结下文学之梦蒂，后来又揉进世界文学的绚丽而真实的色彩。

远在那个年代，我患疾躺在床上，在传统住宅的大庭院里，隔着高高的墙与厚厚的厢房，偶尔能听见街上人群车马热腾腾的喧哗，我很孤独苦闷，非常想能参与生活，怀着梦幻，我写了篇散文《黄昏的街市》投到报社去，作为一个年仅十三、四岁的学生，这篇东西肯定幼稚、不成熟。这无疑是少年理想国、早春乌托邦情绪了。

我把这视作我文学生涯的开始。那是 1956 年。

中国，自古以来就是诗歌的国度，诗的根性在我身上窜得很深，我常以诗来看得周围的世界，企望自己有一个诗性的人生，而诗与梦幻从来是彼此不分的。梦的彻底炸裂是从 1957 年全民皆知晓的那一桩大事正式开始的——家庭的不幸，祸及子女。那年，家中的兄弟姐妹中有四人同时报考大学、中学，四人均未被录取。（是不是许多家庭都如此呢？）